

逆に「肉体性のない音楽」をやるには? もっても固体の存在を
感じさせる音楽とは?

action music 実文書

。音楽の肉体性,

声の特殊性

楽器の介在
というよりも、
肉体自体。
音楽との一体
感覚離れるこ
ができない

樂器をあやつる行為。音楽をかまでているのは樂器以前にその演奏者であり、樂器自体はその仲介でしかない。音楽(樂器=肉体)には、肉体の存在がここにはっきり存在する。

例え電子楽器であろうとも(樂器ではないとも)そこには過去にかけた樂器の存在が陰にあるだろうし、樂器にこだわらずとも生理的手段によって音を出すしたてには音楽はあり得ない

音楽現れを

——過去の記憶。演奏者の肉体の動きからその音楽をもとも明確にあらわしているよう思えた。被覆を訴える部分で——

「音楽」は、音だけではない。それ以外の要素は、音をのぞけば舞いいくつも見えてくるのではないか。

「音だけが欠如した音楽」をやるとする(?)には、樂器を完全にマスターし、アンサンブルであるから、そのフレーズでの音楽的経験も豊富でなければならぬといはず。そして、そのような音楽に熟練してハンドの力でアクションの力を見て、何を演奏されているであらう音楽をさきとらうとするには、観客もまた楽器や音楽を精通していくなければならない。これは本当か?

提案した自分の身が、樂器も音楽生こなせない人間であり、X:Yとして誰か他の2人の方がテクニック(?)はあた。樂器をまさぐると今つきの不安さは、しかし実際は樂器をもととのとまでいともさほど違わない。うらぎのつか樂器ではなくテクニックの本領をやるのそれが何であるか返してあるように、アクション-ミュ-ジックにおいてもうさき子の下の肉体ではなく、意念の弱さからくるあいまいな見せ場? 音楽になりきらない踊りになりきらないケイレになりきらざり

。音(樂)として手元から離れていくときに、自分とは別のものの存在を感じることで、自分とは別で安全にする。が、action musicはこうも行かない。ボーカルが自分とは離れることができないようにならざるを得ない。ボーカルが自分とは離れることはできないよ。から解説自分の歌も忘れないことはないか? → ボーカルは自分の歌起下から自由な声の歌われる歌一面でいい。

。別のやり方での音楽

卷之三

コードの値段やチャイルをハコでポンポン押していく作業はちょっとした快感がある。というのは、誰か助かしているのか? (6月)

新品屋で一律につけられた定価とは関係ない。そのレコードの「価値」の値段をつけるからだ。「違うところ」の
今日の本、本物の本、本物の本、本物の本、本物の本、本物の本、本物の本、本物の本、本物の本、本物の本、本物の本、本物の本

L.P.なんか200円で売れやしないのに、ビートルズのガーフォル盤なら1万づけをつけて売れる。ってこと。この仕事を
あてていいよ^{の意味}の意味^はあるよう^に思えるが。大量に^{大量に}生産・消費
される音楽^{音楽}の中でもレコード店では最底辺に位置されている。(6/19)

していると、レコードの価値も音楽の価値を取り違えてしまってはならない。音楽のランクづけを毎日の
依頼書に記入する。

単純作業の中で行なっているわけだ。値段はマスターがつけるのだが、モノをうすながらぼくと同時期に入らう人の
→ さりさんは、「よく聞いてくるようになつた。安くても高すぎてもほしいから、ウカツをこなせない。店に出したその日に
完成をうながすと、必ずそれがいいかでカンぐられる。薄野町ひろ子「うちうな」が800円は安いと思う。しかし。(6/2)
12枚組(4/2)

同僚に値段をきいてます。同僚も、値段をつける快感をおぼえないので結構高めに値をつける（高値をつけると売れる確率が高くなる）
しかし、これも自分の主観ですが、よくの場合は、ヒートルースの
赤盤をくわいくら高くおきたいと思うが、業者の方は「いいと思うが
自分でつけたレコードが売れていくのを見るのは、快感があるのだ」。マスターはまた、同僚も知らないジャンル、
仕事の世界で自分へおめる位置の → 自分の価値観で他人に肯定させよ
重要さを証明できる（6/22） ようなサディズム（6/22）

例えば「ジャズやブルースなど」のレコードで「珍しい」といふことがあるが、適当に高めに上げて客の反応をうかがう。

「Y 昨日 お仕事で来られた方ですかね。お名前を聞かせて頂けますか?」
そのレコードを客がカウンターに持ってくると、「これは珍らしいでしょ、『よだれうどん』のくらいしますか」と聞きました。

早く仕事始めを11時。早く出でて日課。回数外量X; 安い税金です

先に「この人間の性格、外見、家庭背景、既往病歴、既往治療歴、既往手術歴等を多件まとめて記入して下さい。」と指示されています。

をつけるのもむずかしい。ナット・ミング・コールのレコードを ニューズ・ポーカルにするか(ポーカルにするが)オールディーズにするか

マスター ヒスラーを起こさせることもある。パンギン・カフェをフュージョンからロックに移したり、マイケル・ナイマン

飞现代音楽からロックに移したり、4コマカースをロック日本物に入れたところをたどりの日本物グループに移したりと

バガバカしいから、それと違うのは名前をレッスンしてもらいます。これにして個人の欲望というのを見てて
→ このページは自分で見ても吐き気がする。他人に対してはOK。
自分に対しても無関係。
6/15 個人の欲は露骨な分だけがいいけどね
(66)

口をきかする。高元やはり欲石ね。(5/27) へなしてます。(6/9) その欲の成長には、ほど自身作用して11月7日
トキさんお酒に酔よわくなっ。 (6/24) が絶対的で、コードの壳を高くしちゃうのは
ほんと責任の一端をなして11月7日(6/17)

断片的断章 -

- ② 中国残留孤児の中には ① 本当の残留孤児 ② どう思ってこられる人 ③ 意図的に世の残留孤児の3種類があるよう気がする。(この現象) [木]

③ 多型倒錯の理論と免疫応答の理論は似ているところがあると思う。最初はアーティシスムは「生来は彼らにあらゆるアレルゲンに対する抗体産生の能力を持つ」と「彼らは叫ぶ」と呼ぶ。

④ 右の文章はクロウサンの6月号12の、2012年のTOKYO
いくつか面白い点がある。

① 最下段の「胸膜を理由に…」に来てあるのが多く
あるのは「胸膜」が浮気の正当な理由
であることをいふん認めてるようだ。

② 下から2段目、「ひたすら」などはいはし
處強いて、つまりスカートのキサーやつくるように、キ
サーやひたすらつくるように、胸膜がつくれるのではある
正確には「胸膜」の付属物をつくる、といふことか。
ひたすらの方か接触面積をもて長持玉と
こころねます。ここで考えてらしゃる。
この鏡子たる「ひたすら」とか「うねり」など
いろ可能でござります。その道二三十年のナガモ先生
名人芸の口をかぎりでいる人は何人いるか?

③ ようするにメタ=テクスト的には別に「出産後の胸膜」
云々よりも単に「名器作りができますよ」ということを言
へるのです。身体のオブジェ化と身体化も身体の性化
化。しかしオブジェ化向いの人は常にアーティシスムを
在させているから同じことをいつても2つあります。

④ 性行動の生殖からの分離(逸脱)と同時に起
性行動の象徴化(セクミーチンハンマーは親愛の情の
現れに近親相手的な性交をよくする。しかし、これはやむ
生殖に結びつかない...) ここで性と愛の倒錯が生じ
ます。

そこが
知りたい

「誰にも言えない悩み」

● 解答者 医学博士 南雲吉和

的に正常である。しかし、夫婦の間には何事も仕事も家庭も、子供ができるまでがんばりなんであつて、夫は37歳、私が30歳であつて、男児を出産いたしました。本日はうれしいことに、この世にはまだいなかったやうの、だよと、准看護師仰神心のない私たが、思ひ神さまに感謝いたしました。夫さんがうかうかで、出産後も准看護師さんとお話しをいたしまして、再び結婚式に出産。年子で男児を出産しました。静かな

この数字は、ではあるが、依然として

69

④ 本當日統計總額中，
⑤ 無人認領(B) 檢收(2) 之零用金。

19860627

☆いかがわしくお過ごしでしょうか。僕は何かと気の抜けることが多い昨今で、

☆えーと、先日の《公民館運動・東京中野場所》	の収支報告などしておきます。
収入 参加費(@600円).....	27,100円 ← なぜか100円半端ですが、ほぼ45人分です。人数チェックがきっちりしてなかった。名簿のとり忘れも失敗だった。
支出 計	27,100円
会場費	
施設.....	8,000円 ← 照明を動かせなかったのは誤算。
付帯設備 かわく.....	300円
照明.....	1,000円
情宣費	
チラシ印刷代 (500枚).....	3,800円 ← 中野「きょうだい堂」。まあ、安い。
当日リーフレット〃 (50枚)...	1,000円 ← 近所の10円コピー。
前回会場費立替分.....	8,000円 ← 本来は、前回の利益から支払うべき費用なのだが……。
計	22,100円
差引残高.....	5,000円

というわけで5,000円残ってますから、今後やるときの足しに少しさはなるでしょう。ほかに反省点すべき点：①参加者の名前の誤記（×竹内→○武内。後で気付いた）。②時間が押したこと。特に最後の3C123+大熊亘+鈴木健雄組には気の毒なことをした。ちゃんと見れなかったから、個々の実演に対する感想は何とも言えないな。☆ある考えを知ると、必ずそれとは異なる見方を知りたくなるというのが相対の人＝私の性癖で。最近の例としては、①『精神病を知る本』とは対立する精神病内因説の本『脳から心を読む』を読む。思うところ多いが、長くなりそうなので略。②『現代マンガの全体像』に対して「分かっちゃいない」というマンガ編集現場からの批判（『白夜通信』）。いろいろ思うところもあるが、長くなりそうなので略。③これは結果的に対比することになったのだが、宇賀神寿一・黒川芳正それぞれの拘置所からの手紙（「中山千夏を当選させよう！」というもの……参ったぜ）と、『噂の真相』7月号所載の永山則夫・拘置所からのメッセージ。共に死刑廃止を訴えているのだが……思うところあるも、長くなりうるので略。④略。⑤も略。☆鈴木いづみが2月に自殺していたことを知る（これも『白夜通信』）。そういう死に方を選んでも不思議はない人だとは思う。『恋のサイケデリック』（デビーズ）を聴いて追悼。

☆友達の友達（米国人）の誕生パーティーに招かれた。プレゼントは僕の趣味で適当に選曲したテープでいい、とのことだったので、手持ちの米・英・独・仏のロックから適当に選んだところ、案の定、60年代末期～70年代初期、なかなか（なぜか）'73年あたりの作品に固まってしまった。自分のアナクロ趣味を認めつつも、実際、70年代半ば以降のロックには魅力が無くなってしまった、サカモト教授流に言えば「アウラが失われた」（笑）とも思われるやうにならなかった。

☆仙台に引っ越した友人を訪ねる。1月に生まれた子供に振り回されながらも楽しく親馬鹿している感じ。歓待されながら批判するのも気がひけるので文句は言わなかっただけど(あ、少しほは言ったような気もする……サシで飲んでるとき)、どうも御家庭というのには居心地が悪い。諸悪の根源、と言ったら褒めすぎになりますが。

中央 誠の豪傑生活 2

草遠官・草空向 内田善美
集英社

「内田善美は、今まで別に感じなかつたけど、これ良かったよ」とか言って、本やエッセイ(ウニタ)ではない時代からの友だちが届けてくれた。

知恵の小さき女の手を青年が持つ。その手は自分の事を「ネコ」と言うので、こりやあ「縫の口星」じゃないか!と思ふと、実は女の手はお人形なのでした。

「草遠官」はまだいい。猪木の「草空向」にはこんなシーンがある。すっかり人前でも女の手をする人形「ぬこ」が、街にとびだしてしまふ。にぎやかな通りを、なんの重み感も与えず歩きまわる人形「ぬこ」に主人公の青年草が言う。

「おまえ

人前になるのか?」

うわあ。これでも少女マンガの「ぬこ」、「ぶーけ」連載なのかな!でもちゃんと、ケセコソがれてる所がしたたかいで、こんなマンガひとつ書いたら、もっと異色すべしやな。恐れ入っておいではあるまいだ。

4ヨコレート・パニック
藤原カムイ

「新しい」というのは多様なもののが、ススコミが「新しい」と言えれば、ああ今風なのだろ、と解釈すればいい。

藤原カムイはニューカエーブの猪木とか言つたけど、ヒリ・井生(吉野ひさお)、藤原江美的に

考へれば、果てオーソドックスなものが。漫画もミニまでテクニカルに沿つたが、という驚きがあったのだろうが、例えば大友克洋とくらべると、人物に全く魅力を乗せもなくて、ディズニーとか藤原二雄のカリカラキャラ的なそれにはない。

しかし、確かに「今風」のある部分が良くなっているのだと思う。僕たちに身近る「文化」は、高島直樹風に言えば、典型的に「盛社会」のそれでは、生活感をどれだけ払拭するかひとつつの価値がある。日本(東京)の「若者文化」という奴は、実にドラエモン的であると思う。

そこから、少しづくともスタートする藤原カムイは、ヒロも危ないと思うけれど、藤ちこぼれの僕には魅力的な作家ではある。何かを伝えるには、より日常的なコトバが大切だと語る。僕には具体的に日本人にいる人々に有効なコトバの直覺性にやけるので、少しづくともその一部に並して作家かけられる道具に柳原カムイを偉いと思う。

僕観る立場からほどんなり現実的な言葉も吐けるが、中止とどまつてそれをするのは、ヒロも知力、体力、勇気の要る事だ。

「花王名人劇場」

倉地エくんの手伝いの8mmで、ライヴの設定で録画をして後、即席に一シーンをエレベーターで撮つてしまおうという事になり、居合

の上で僕たちも手伝わされた。

主役(倉地エくん)がエレベーターに乗りようとする、エレベーターの扉が開く、すると中は人でいっぱい、みんな舌を出していると

ふ、掛け軸を踊る、というシーンで、太竹まことは、東八郎の踊るという説いに、なんか本長ご嫌がつていた。

これがだな。僕の政治と呼べるもの。

ギターをやつて子が告出しているかだったそらう。僕がギター専く嫌だった。人が圭合いかいい(?)から又匂うのよしたけど。

中学の頃から、体操をかけ声とともにやつてやらねがつた。適当に手を振せて、見える所でサボッていた。人の言うなりに体を動かさなくてまづらご免だ。

名人劇場のフィナーレで、桂子好江の三味線で山口君と竹田君、シティボーイズ、東川郎の曲々が



もっと豪傑を! ①皇口A戸2本舗

反対勢力二三の「最後のロックンローラー」、尚幸が「パイオニア」の演奏を聴き「破壊的だ」と評したジョニー・サンダース&ハートブレイカーズがまた来日するらしい。が、今度は行かないもんね。だいたいニコといいウイル・ジョンソンといい、そう簡単に来てもうては困るのだ。ベルベット再録のハナシも嫌な気がしない。しかし、6/12録のリーズにJ・サンダースのときも来れた成田宗弘を見た。白状すると僕はJ・サンダースのギターには影響されているのであった、などと恥ずかしい話はやめましゅう。

獄中者(宇賀神寿一)から手紙が来た、という初の経験に思わず神拝に向つた(ウ)。5年の支援連バザーに参加したためか?と思、たゞゲン氏宅にも来たらしい。内容は「中山千夏をよろしく」という無差別表の会運動だ。返事を迷つてしまふ。

TVで「ゴッド・ファーザー」を見る。放映の度に見つかるのはジョン・カザルが出ているから。勇怯者や情痴者を演じれば「右に出る者が居なかつたことは『狼たちの午後』で被批判る。僕は毒鏡の出でくるタイプの映画は好きなのだが、この僕の「青春思い出ベスト5」に入ると彼ではなく、ラスト近くで、相棒のアル・パシーノひとりをしたCIAによって射殺されてしまうし、「ゴッド・ファーザーPartⅡ」では弟のアル・パシーノの足手まといとなって、やっぱり殺されてしまうジョン・カザルは「デビア・ハンター」が遺作の既に故人。本当の死に際では旧友のアル・パシーノと婚約者だった。M・ストリーブに見つられたらしい。ベッドの上で死ぬて良かったね。

6/21に「種の禍(うなぎ→太陽肛門→改名ました。あからず)」を演奏お隣、僕は夢つくの前で宿泊されたようだ、金ぼりのような状態がづき、妙だな、と思つてよく前方を見ると福本氏が不動の姿勢でこちらを見ていた。気恥ずかしくて意識してしまった(笑)。

「W-NOTATION」Vol.3を読む: どうより眺める。わざと読みみづくしているような箇条にうんざり。これはいつもの戸田ツトムは嫌いではない。大里氏の文をおもしろく読む。「フリー出身のロック・ギタリスト」といえば「ショッカビリー」のユージン・キャドバーンを思い出す。「フリー・インプロヴァイズド・カントリー&ウエスタン・ビーバップ」の頃がなつかしい。奥様ないがそれで思つ出したのは、2月から内緑の妻が渡欧してまして(早く帰つて下さい)、フランスで「クランプスを観てきたところによれば」「下品の極み。まるで悪趣味なロッキー・ホラー・ショード」のこと。それにしても今頃話題になつてゐるクランプスにしてもゲン・クラブにしても活動の当初に記事にしていたのは斜捕氏が美川氏くらいのものだった。日本のマスコミ信用できないアルネ。夏は暑い(当然)。この時季僕は日が暮る頃に窓を開め、夜の冷氣を充満させたまま窓ガラスに黒いビニールのゴミ袋を張りつけ日光を遮断することで快適に眠る(元々日当たつは悪いが)。弱い光の中でベッドなんか聴けば尚幸の気分だよ~ん。

「ミュージックマガジン6月号」のパンフレット、特集は大島氏の夏に其感ぜたのみ難解だ。

正義感や倫理感が「当人の真摯さからほ遠くかけ離れて、時にうそっぽい感じられてしまうのは、権威の不在をもつてからその多くの発言が「ほとんどの場合、主観」の域を出ることがなく「孤立した個人の内部」(寺山)から發せられていてここに起因するように思われる。だから「生活感覚」なんて信用できない代物なのだ。僕の場合「私」の問題は、5年前に他人の前で演奏することを憚つてからは、自分にオシメをつける」といった方法(?)で解決してた。「私」という主語が同時に「私たち」をも言い表わしていることは通常理想だが(当たりまえ)、以前テリー氏が「もう『私』としか言えない」という意味で言つてたことは結果こそ正反対ながら、その過程は共通する、と思つてはいる。

以前、「ラジオ・ホームラン」に遺産相続人のつきいで出たときに、「ラジオ」で番組持つた、なんとかという男は全ての音楽の判断基準を「ファンキー」(黒人音楽のアレ)であるか否かに手前勝手に収斂させていて、その判断をごく一般レベルで否定したら憎まれてしまつたが、こんな理不尽な、自分の趣味や好き嫌い以外に価値基準を持たない人と接することでして世の中にはこんな誤の分からんことを平気で言う人が存在するのだろうか?と思つてしまう。オマケに「好きじゃない」と言うならまだしも、論理不在のままの強さでもってけなされたりした場合、「大きなおせあだ」を通り越して「なんで僕がこんなこと言わねんくちやいけないんだ?」、僕はあなたでないのに」と被害者意識がめばえてくる。他人と接していくその場で怒りを覚えることはあまり多くない方だが、後で家財に帰つてきて腹が立ち、くやしさのあまり眠れなかつたり、夢に出てきたりする消極的なタイプなので間討ちを本気で考えたりするから気をつけましゅうネ(?)。

先日の慶應大でのイベント(6/21)では終了後のあまりの悲惨さに、泣き止くても涙を出ない。例の三田新聞のなんとか君が酔いに酔つて「イーター」歌つたりする姿は、かつての「飲み屋の全其闇」を思ひ出、そういうふうに「元ゴント」だらうのが(そんなことをすんじゃねーよ!)坊ちゃん育ちを割り引いても彼の人生の不運さを感じさせることは充分だった。だいじょうぶ、君自身は救われないが、その政治的怨念は僕がうけとめてあげるよ、などとめにもならない大きなおせわ。つき合いとはいえ、荒井氏の酒呑みは閉口。高円寺の空は朝の5時頃の虚しさに晴れてはいたものの、その後僕はこの日の深酒がたたつたが、いわゆる「脱肛」になつてしまつた(笑えない)。

You make me. ぐらぐら。

- ・映画「パリアン」を見る。気がついたら自分はもう死んでいた、というパターン。筒井の小説もある。お父さんは本当は死んでいるんだけど本人はそれに気がついてない。周囲の者が必ず死でそれを気にならないようにしている、とか。映画「失われた船員」では、主人公は船員としているのだが、どうも様子が妙だ。実は乗客は皆、もう死んでいるはずの人�향たた、という記憶がぽろりと背の胸に浮かび上がりかけた頃、主人公は船から落ちて溺れ死に、元の世界ではガス自殺からみがえる。「人並みはすべて寒がりの人は、実はもう死んでいた人々」という話も最近聞いた。またいな。
 - ・映画「ヤースザドライバー」を見る。これは、映画「1941」「地獄の黙示録」にも、「黄種の禍」観が感じられる。今号表紙の蓬莱公報にみられるような共産党に対する過激なまでの言説が、ぶりの裏に共産党に対する恐怖が感じられる。日本が「赤い国」に取り囲まれているせいもある。右翼も共産党的だった、という説はすごい。
 - ・「佐々木健一くんプロジェクト」をみたい。「端としての映画」における生真面目さに圧倒される。8ミリ映画（しかもぬねぬね、つながり）、メッセージ性などがうらやましい。
 - ・「公民館運動 大阪場所」いつもコンスタントに客に入るはどうしてなんでしょう。福本乙部が疫病のためにはまいたシルク新潟経由で舞い戻ってきた。（新潟の観客が持ち帰ったものが新潟の人々が流行り知らない「新南」と共に送り返す）
 - ・慶太さんのイベントではじめて「種の禍」（太陽肛門）改め、イタズライテラる名やる）のか、こよとを知る。ひとらしい人→意外にひょきん→シリアル二枚目…という三段化に混乱。
 - ・「昔らしい人たちに」来て下さった方、どうありがとうございました。私の生長コード、知りませんか？
 - ・ラジオでの、鈴木君のホーミーによるアリランに改めてひらく。身がけている人肉国宝？
 - ・トマス・ヘイス「しつ・ドライバールス・レンデル『荒野の絞首人』など 犯罪者の異常心理ものを読んでると、気持ち悪くなる、のか楽しいともいえるけれど、所詮、絞首事の世界。アカデミックからの帰還者はまるで記述は、のせて最高に興味深い、文章だ。
 - ・FUKUMOTOBEという名にはOTOBEがFUKUMOTOと後ろから犯しているかのような不気味さが感じられてならないが、そういうのは最近、この两者と一つのが便利といい(い)みをしていると誰やらに言われなくて初見の方はどこでも多い所にまで広がっているので、書類中の某氏から来た手紙、一ヶ月ほど前に置かれて書かれたトモ宛の手紙の文面が殆ど同じだった。それはともかくほら川氏竹田氏の読みのさせない言葉が載っていることで有名な仁玉立正集録部6月号だが、その「光東の國から」の言葉はP氏の(?)作であるらしい。P.Eの体裁は、まだ表紙も含めて全てC氏の責任であるといふ。
 - ・我が家家の近くにはあるのだが何故か一度も通ったことのない道を、今、歩いている。ところは意外なことに今まで見たこともないような風景が広がっている。一見すると何の変哲もないふらは立たずましたが、どこか異国風で吹いてくる風も不思議でいい。地名は近所のものだが、点に屋敷一軒、ホツンと立っているので昼食をとる。というような夢をみて後、半日ぐらいたその土地への憧れで胸がいよいよう。
- 会社をやめてからずっと続いている「一状態」が一氣に落ちてきた。1/23に熊井さんDJに頼まれて乙部と共に出、音楽から絶対断ってたがついでに仕上げる。その後不安になって鈴木君を説う。事前に予定した197オーマンス、公民館運動などの言葉はあまりなくす。熊井さんは悪か、かなどとあてて思う(ウツウツ)が樂しく、嬉しいしました。しかし今はこれを書くのもおく。
- 《公民館運動大阪場所》のお知らせ
☆日時：昭和61年8月2日（土）午後3時～午後8時
☆場所：大阪科学技術センター B101会議室
地下鉄四ツ橋線本町下車、北へ徒歩5分

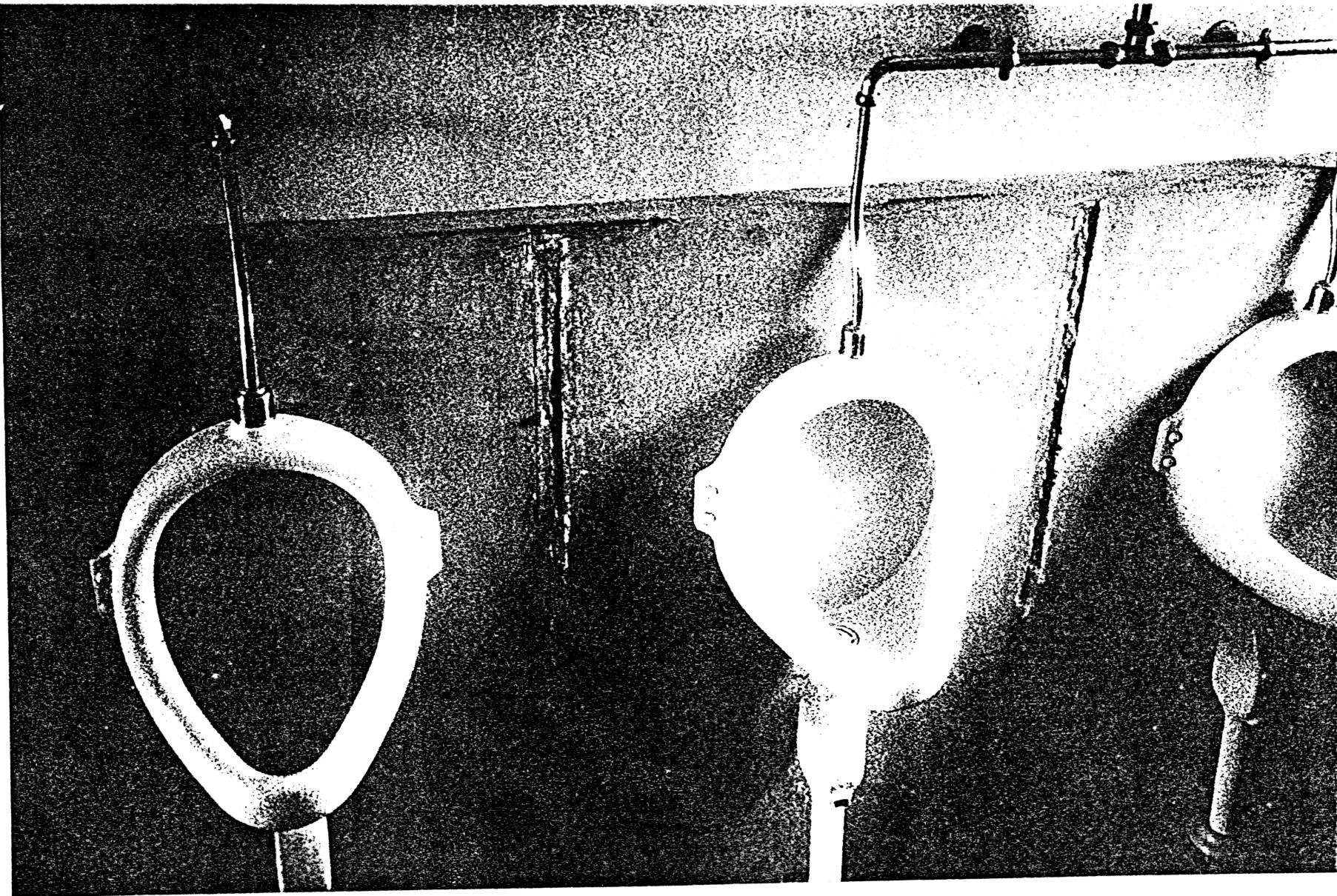


No. 3243F SEATTLE: Dominant lady, 44, wishes to meet submissive males of education and knowledgeable interest in R&D and S&M, over 35. Only sincere need write as I do not need pen pals or knooks. I have a studio and need for a part-time "whipping boy". My interests are varied. See Photo.



No. 2885C OREGON Couple, 29, she pretty and passive; he dominant, would like to get acquainted with those interested in B/D and related ideas. Photo assures prompt reply. Will answer all. SEE PHOTO.

BERUIT



HIROSHIMA PEACE PARK 8.6.85